

平成 21 年度号 No.29 平成 21. 6. 8 発行  
〒275-8511 千葉県習志野市泉町 2-1-37  
東邦大学付属東邦中学校・高等学校同窓会  
TEL/FAX 047-472-1160  
URL <http://www.dosokai.org>  
E-mail [tohojh\\_dousoukai@yahoo.co.jp](mailto:tohojh_dousoukai@yahoo.co.jp)

## 目 次

- 同窓会総会開催案内…………… 1
- 会長あいさつ…………… 2
- 学校長あいさつ…………… 3
- 同窓会のこの1年…………… 4
- 特別寄稿…………… 8
- 同窓生のページ…………… 12
- 学校の近況…………… 16
- 平成 21 年度入試結果 …… 18・19
- 新入会員を迎えて…………… 20



題字：創立者 額田 晋先生 書

## 同窓会総会開催案内

日時 平成二十一年七月四日（土）

受付開始 十四時三十分

総会開始 十五時

（会場 ルーナ）

懇親会スタート 十六時

（会場 プリマベラ）

会場 ホテル「ザ・マンハッタン」  
幕張新都心

議案 ・平成二十年度事業報告  
・平成二十年度会計報告

・平成二十一年度事業計画案

・平成二十一年度予算案

・その他

学校の近況報告

・東邦中学・高等学校入学をとりまく状況

・大学進学状況に関して

・その他

※先生方からご説明を頂きます。ご家族同伴の出席可。

懇親会 総会終了後、懇親会を行います。

会費は、正会員五千円、学生会員千円とし平成二十一年三月卒業の新会員はご招待とさせて頂きます。また、会員同伴のご家族からの会費徴収は致しません。

なお、会場内での喫煙、未成年者の飲酒はできません。

☆出欠のハガキは七月二日（木）必着。

FAXでの回答はご遠慮下さい。

☆電話 ○四七―四七二―一六〇

# 東邦中高等学校同窓会の

## 新呼称「せいじん自生人」が誕生しました

中高同窓会長 鮎川 二郎（七期卒・千葉商科大学教授）



一．はじめに  
母校である  
高校は一九五二  
年に、中学は  
一九六一年にそ  
れぞれ創設さ  
れ、一九五五  
年には高校

第一期卒業生を世に送り出しています。以来、今年で第五十五期生が卒業し、同窓生総数が一九二〇名となりました。これまで半世紀余りを迎える間、同窓生の皆様におかれましては全国各地のさまざまな分野にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。

現同窓会は、平成九年九月十五日の定例総会を機に新体制にて再スタートして以来、学校法人・母校と父母会の習志会との三位一体の関係を維持しながら順調に活動を続けています。十数年前、はからずも私が会長に任命され、会務正常化の重責を痛感しながらも有能かつ積極的な新役員が会務に参加していただくことになり、協力して母校の発展に寄与し得る様な健全で民主的な同窓会を築いていくことを実践しています。

二．同窓会の新呼称を「せいじん自生人」とする  
かつてから同窓会を呼称する会名が存在していなかったため、会報等で募集をしていたもののふさわしい名称が見当たりませんでした。そこで平

成二十年度の同窓会総会（帝国ホテルにて開催）において、私から会名を提案し、審議していただいた結果、満場一致で賛成されましたので、この紙面でご紹介し、今後同窓会が存在する限り会員をはじめ母校関係の皆様や学校法人に関わる広範な方々にも愛称として親しんでいただきたいと思ひます。

三．「せいじん自生人」と命名した根拠とは

同窓会名を「せいじん自生人」とした根拠は、母校の創設者額田晋先生が生涯をかけて「人が力強く生きる道」を問い明かした「自然・生命・人間」の著書にあります。学校法人東邦学園の建学の精神・教育理念を象徴するこの著書は、一九五七年に刊行されたもので、次第に蔵書が少なくなり、読まれる機会も無くなりつつありました。折しも二〇〇二年に東邦中学・高等学校が創立四十五周年記念を迎えることから、法人関係機関のさらなる発展とそこで働く人々や生徒に建学の精神を今一度広く知っていただく一助とするべく、同窓会事業として学校法人や額田家のご同意を得て、さらに母校関係者のご理解とご協力を頂きながら復刻本として刊行しました。それ以後、「自然・生命・人間」の版權を同窓会が担い、同書は毎年の中高新生全員と新任教員用に四〇〇冊を寄贈させて頂いております。後にこの同窓会事業は、大学法人からも要望があり、オール東邦大学関係（各学部・看護短大など）の新入生や新任

職員用として二、〇〇〇冊を毎年寄贈させて頂いております。

「自然・生命・人間」の寄贈事業は、同窓会にとつては母校と共に存続する限り、最も重要な支援事業として位置づけ、会員や後輩たち、そして大学法人関係機関にお役立てできることを念願している次第です。

最近、こうした事業や他の母校支援事業などを通じて、母校や大学法人にも次第に同窓会の存在が評価され、役員一同は同窓会員を代表しての会務のやり甲斐を感じているところです。

このような状況の中、同窓会の呼称を企画するに当たり、前述の総会前から大学法人本部に寄贈事業の「せいじん自然・生命・人間」の各頭文字を採りいれて、「せいじん自生人」の採用許可願いを申し上げたところ、額田家関係者のご承諾と併せて法人からも了承が得られましたので、総会に提案するに至った次第です。

「せいじん自生人」は、いうまでもなく学校法人東邦学園の建学の精神・教育理念を象徴する会ですが、敢えてもうひとつ意味する会として、同窓会は「自立して生きる人」＝「せいじん自生人」の会員組織であるとしたしたいと思います。

「せいじん自生人」は、東邦中高等学校同窓会の人格にもさせて頂き、またブランドにもさせて頂き、呼称の誕生を契機にそれに相応しい組織として真の倫理観と誇りを持って運営し、会員相互の親睦と向上発展をはかり、かつ母校の発展に寄与することを目的に役員相互が一致団結して各種事業を行いたいと考えています。

同窓会の新たな呼称「せいじん自生人」の誕生を契機に、会員の皆様におかれましては同窓会事業へのより一層の参加と連携・協働を賜りますようお願い申し上げます。

## 〃 邂逅 〃 二 題

### ― 近況報告あれこれ ―

校長 秋 山 尚 功



はじめに

鮎川会長はじめ会員の皆様には、母校の教育推進に多大なご支援を頂き感謝申し上げます。今年度もよろ

が主軸を変えずに教育を行っているのは素晴らしいと思います。：母校を訪れて最も驚かされたのは、校長を始め恩師が僕のことを記憶されていて、廊下等ですれ違う際に声をかけてくださった時は本当に嬉しかった。これからも母校の卒業生として、後輩たちを率先垂範できるよう日々精進していきたいと思う。」

卒業生の活躍は母校としても嬉しい限りで、今後一層の活躍を願った次第です。

しく願います。

今春の大学入試では東大理Ⅲ現役合格の快挙がありました。四月には優秀な新入生を迎え、在籍者数は中高全体で二、〇七三名となりました。現在、旧白羽寮の多目的合宿施設への改修工事が進行中で、夏休み前には完成の予定です。

#### (1) 卒業生の母校訪問

四月の生徒健康診断で来校した医師団の一人に本校卒の青年医師がいました。彼はその時の印象を次のように語っています。

「：卒業以来八年振りの訪問だったが、食堂と寮が建っていた場所に、セミナー館とそれを繋ぐ空中回廊など立派なものが建てられていたとは驚き。：健診で生徒達を見ると、高校時代の友達に似た顔立ちや雰囲気などで、懐かしさや親近感を感じた。世代は変わっても校風は変わっていないと感じた瞬間でした。：母校

#### (2) 半世紀振りの邂逅

本校着任して偶然にも目に留まった同窓生の名前。住所は昔と違うが、そう多くない姓だから、彼に違いないと思っていた。毎年この原稿を依頼される度に連絡しようと思いつつ果せなかったが、今年は連休明けに意を決して電話してみた。事情を告げると突然の非礼にも拘らず、応対された奥様は親切にも取り次いでくださった。：やがて受話器の向うから「お久しぶりです。よく覚えていますよ。：先生は熱血漢で強烈な印象が残っています。：」とK氏の声。：音声、口調や雰囲気など、中学生時代のK少年が脳裏に甦る。：。実は大学生の時、私はK君の家庭教師をしたことがある。彼は育ちの良い素直な中学生で教え甲斐があった。父は開業医、母は朗らかな人柄。明るい雰囲気の家で、夕食も頂いたと記憶する。：その後K君は東邦高

校から大学に進み、現在は医師として立派に活躍中と判明。実に約五十年振りで、懐かしい限りであった。電話を終えて「熱血漢で強烈な印象?」と自問自答する。熱心に教えた自負も無い訳ではないが、「強烈な印象」とは予想外で俄かに思い当たる節もない。強いて言えば、時間が延びて夕食を遅らせたことか?と思索した。もしそうならば、それは物事にのめり込みがちな生来の性分の故で、その余韻は今でも拭い切れていないかも知れないと自己省察している昨今です。

人との出会いや過去の回想も、自己本位になりがちな教師の自省の一助とすべきで、偶然の「邂逅」に感謝したところです。

#### (3) 東邦ラッピングバス

五月一日から、東邦大学の新マーク「青い地球に12のアイコン」をつけた路線バス一台が、習志野地区を運行中です。東邦ブランド向上のPR策で、バスの左後部側面に「付属東邦中学・高校」の白文字が入ります。このバスに出合える確率は低いですが、それ故の楽しみも大きいかも知れません。

また、五月十七日(日)には、大久保商店街の一角に『坂の上の雲』の主人公秋山好古の顕彰碑が建立され、除幕式に学校を代表して臨席しました。母校界隈を偲ぶご参考までにご紹介した次第です。

#### むしろに

東邦高校も間もなく六十周年を迎えます。職員一同、更なる発展に向け努力したいと思えます。皆様のご支援を重ねてお願いします。



# 同窓会のこの一年

同窓会副会長 渡 邊 和 彦 (二〇期生 歯科医院経営)

同窓会活動のこの一年(平成二〇年七月～平成二十一年六月)を簡単に報告させていただきます。

## 平成二十年度同窓会総会・懇親会

昨年七月十三日、千代田区内幸町の帝国ホテルにおいて、平成二十年度同窓会総会を行いました。

議事は、会報「ならし」の第二八号に提示された議案を中心に予定通り進められ、決算報告、事業報告、予算案、事業計画案等、すべて承認されました。懸案であった同窓会の呼称について、「自生人」とする案が同窓会執行部から提示され、総会参加の会員から快諾されました。

※呼称「自生人」につきましては、今回の会報の鮎川会長のご挨拶文の中に詳しく書かれています。

総会に続いて行なわれた懇親会には、総会に参加できなかった会員も加わり大変な盛況になりました。世代を越えた親睦の場として、情報交換の場として、有意義な集いが実現出来たと思います。

ただ、今回、残念だったのが、多数参加してくれた新会員のマナー(特に人の話を聞く時の態度)が十分ではなかったことです。直接話をしてみると、一人ひとり素直で心優しい若者ばかりです。可愛い後輩たちに社会人の嗜みを教示することも、同窓会活動の使命かもしれません。



校歌熱唱



鮎川会長挨拶



秋山校長挨拶

## 母校卒業式に

### 向けての取り組み



#### 一、卒業記念品の贈呈

卒業を祝い、例年通り、ペン型印鑑と「鮎川会長デザイン特製ペーパーバッグ」を卒業生全員に贈呈しました。

#### 二、臨時会報の発行

今年度も新入会員に対して、「臨時会報」を作成・配布致しました。会報には、同窓会組織・規約の説明、高校卒業生への祝詞と激励などを盛り込みました。

(平成二十一年三月二日新入会員に配布)

#### 三、同窓会入会式

三月二日(卒業式前日)、母校体育館で同窓会入会式が行なわれ、昨年度に続き、手塚幹子理事が歓迎の挨拶をしました。

#### 四、卒業式への参加

三月三日、母校体育館で卒業式(卒業生三九三名)が挙行され、私、渡邊が同窓会を代表して、来賓祝辞を述べました。

## 平成二十一年度入学式



平成二十一年四月八日、母校体育館で中学校・高等学校の入学式が挙行され、鮎川二郎会長が同窓会代表の祝辞を述べました。

## 「自然・生命・人間復刻本」贈呈

東邦中・高への入学を祝い、例年通り、学祖、額田晋先生著「自然・生命・人間の復刻本」とガイドブックを新入生全員に寄贈しました。(平成二十一年四月八日)

## 会報「ならしの」第二十九号発行

(平成二十一年六月八日)

## ◆同窓会アワード

### (母校生徒への報奨制度)の実施

規定に従い、次の部活に報奨金を贈呈しました(学校の近況のページに関連記事があります)。

- ・中学校水泳部(関東大会出場 全国大会出場)
- ・中学校スキー部(関東大会出場 全国大会出場)
- ・高校スキー部(関東大会出場 全国大会出場)
- ※関東大会において、男子リレーで優勝
- ・高校陸上部
- ・(男子四百メートル競走 県大会優勝 関東大会八位入賞)
- ・高校女子ハンドボール部
- ・(関東大会出場 全国大会出場)
- ・中学校卓球部
- ・(関東大会出場 団体戦七位入賞)

## アワード贈呈部活からの報告

### ◆インターハイで学んだこと◆

スキー部 大前 達郎

自分はこの東邦スキー部に入り五年目をむかえています。中学一年から始めた頃は、右も左もわからないような初心者でしたが、一年目から全国大会に出場し全国のレベルの高さをいやというほど感じさせられ、自分もいつか対等に戦いたいと思ったことは今でも忘れません。この目標をかけた二年、三年と努力し、高校一年生の時のインターハイで、自分はたくさんこのことを学ばされました。

自分がやっているクロスカントリースキーという競技は、ゲレンデを滑り降りるというようなものではなく、山に作られた一周五km程度のコースを使用し、平地を滑ったり、坂を登ったりするような競技で、自分は十五kmフリー一〇kmクラシカル、一〇km×四リレーの三種類に出場しました。結果はあまり良いと言えるものではありませんでしたが、自分の実力を出しきりくいのない戦いができたと思います。

このインターハイを通じて学んだことの一つ目は「仲間」の大切さです。スキー競技は個人競技なので、最終的には自分との戦いになりますが、チームの仲間と支え合い、励み合いながら切磋琢磨してきたからこそ、このような大きな大会に出場することができたんだと感じ、このチームでならどんな困難も乗り越えていけるなという強い自信にもなりました。二つ目は「感謝」の気持ちです。雪不足の中、大会を運営してくださった大会関係者や、指導してくだ



スキー部

さった先生方、家族などたくさんの方のひとの支えで自分は安全で楽しくスキーができるんだと再確認しました。三つ目は「スキーを愛する心」です。どんなに一生懸命に練習しても、スキーが好きで楽しいという気持ちがないとなんの意味も無いと思いました。実際に滑りの上手な選手を見ていると本当に楽しそうに滑っていて、自分もこんな風になりたいです。

自分に残された時間はもう一年しかありません。東邦スキー部はまだまだ成長できる部活だ

と信じているので、チーム一丸となってさらに高いレベルに上がれるように練習を積み重ねていきたいです。

### ●平成二〇年度の成績●

県レベルの大会

アルペン・クロカン共に上位独占。

県総体・県新人戦ともに男子優勝。

高等学校関東大会

男子リレー優勝 学校対抗総合三位

高等学校総合体育大会「インターハイ」

男子リレー 全国二位 他

中学校スキー大会「全中」

男子八名 女子一名 出場

国民大会

男子三名 女子一名（最高四九位） 出場

全日本ジュニア選手権・JOCジュニアオリンピック

本校から中高十一名 出場

### ◆強い気持ち◆

テニス部 勝俣 卓海



およそ今から半年前の二〇〇八年秋に、東邦中学テニス部は東京都で行われた関東大会に出場した。

試合はシングルス三つ、ダブルス二つで先に三つ取った方が勝ちの五対戦で関東大会は、さまざまな県の上位の強豪チームが集まっているので一回勝つのも容易ではないと思えた。

大会前日、いつものように学校で練習を行ってから試合会場の近くの民宿に泊まり「明日は全力を出し切って絶対勝つぞ」という気持ちで一晩を過ごした。

そして迎えた大会当日、開会式ではどの学校も皆、県の代表としての誇りや絶対に負けないという気持ちが強く感じられた。そこで僕は、

「もうここまでできたら絶対に勝つてやる。」ともう一度強く自分に言い聞かせた。

そして、ついに一回戦が始まった。僕たちの初めの対戦校は埼玉県の城西川越中学校だった。初めは足が思うように動かなかったが、周りの応援もあって精一杯戦えた。結果は、ダブルス二つとシングルス一つをとって三―二で勝つことができた。それでも、僕たちは気を緩まることがなく二回戦に臨んだ。次の対戦校は東京の学習院中学校だった。僕は今までに練習してきたことを全て相手ぶつける気持ちで全力を尽くした。しかし、自分のサーブはうまく返すことができずに、最後の自分のサーブはゲームをおとして四―六で負けてしまった。結果シングルス、ダブルス両方とも勝てず〇―五と結果的には惨敗だった。

でも、僕たちは関東大会という大会に出場して一回勝てたことはすごく自分たちの自信になるし、これからの飛躍にもつながるとも貴重な経験になったと思う。そして、東邦中学テニス部の団結力もより高まったことだと思う。

あれからまもなく半年が経とうとしている。東邦中学テニス部はもともと強くなつて、また関東大会に出られるように日々努力をしている。そして僕たちの代は、新中三になり残された大会は六月の関東大会につながる大会のみだ。次の大会は千葉県で関東大会に出場できる学校は一位のチームのみなので皆、練習を一回一回大切にしていける。僕はまた同じメンバーで関東に行けることを信じている。

これから中学校を卒業して高校に進んでも、テニスを続け、勉強にもテニスにもより力を入れたいと思う。そこでもし、勉強がうまくいかなかったり、テニスで悩んだとしても関東大会で学んだ強い気持ちや自身を生かしていきたいと思う。

これからもテニス部の団結力を高めて楽しい中学校、高校生活を送りたいと思う。



## ◆多くの人へ感謝!!

## 中学卓球部・関東選抜大会初出場!! ◆

顧問 黒川 信行



平成二十一年三月十四日・十五日に栃木県総合体育館で行われた第十六回関東中学校選抜卓球大会に、中学男子卓球部が初出場を果たしました。

関東選抜出場への道のりの最初は十一月の習志野市新人戦でした。ここでは全勝で団体優勝を果たして市内を勝ち抜き、十二月に行われた千葉県中学校新人体育大会へ出場しました。ちはら台南中、四街道旭中を予選トーナメントで破り、ベスト八校による決勝トーナメントへ進出、市川中、旭二中を破り、千葉県五位で入賞、関東選抜出場への切符を手にしました。県大会では円陣を組んでの気合い入れや選手が感激で涙する場面もあり、選手・応援・監督ともに一丸となって感動的な試合が展開されました。

さて、関東選抜では、十四日が四校に予選リーグ、十五日が予選リーグ上位二校による決勝トーナメントが行われました。関東常連の強豪相手に初出場校である東邦が食い込んだ形なので、胸を借りて挑む気持ちで、全力でぶち当たる精神で試合に臨みました。予選リーグの結果は、第一試合で対戦した植水中（埼玉県一位）を三―二で勝利したこと、勢いがつき、第二試合の藤代南中（茨城県二位）との対戦も三―二で、第三試合の成瀬中（神奈川県六位）は三―〇でいずれも勝利し、予選リーグ一位通過となりました。決勝トーナメントでは、シードの位置に入り、二回戦の鴻巣北中（埼玉県二位）との試合で惜しくも二―三で破れ、関東ベスト十六という結果で終わりました。

東邦では、中学校の部活動で卓球を本格的に始める部員がほぼ全員です。今年の主力メンバーも同様で、ほとんどが中学校の部活動だ

けで力をつけてきました。顧問から見て、部員間の団結力、物事に素直に取り組む姿勢が、彼らの力をここまで伸ばしたと思います。中二の夏から県内外の中学校での練習会、時には県立高校の練習会にも混ぜて頂き、そうした経験が部員、顧問ともに勉強となり、大会で勝ち抜く力をつけさせて頂いたと思っています。そして、OBや保護者の方、他の先生方からの熱い支援が大きな心の支えになってきました。部員、顧問ともに感謝！感謝！感謝！の一言に尽きます。ありがとうございました。

## ●団体メンバー●（全員中三）

梶村直人（キャプテン）・藤川大輔・蔵元佑樹・杉浦 慧・御園生銀平・早川啓太



卓球部関東大会出場

## 同窓会事務局からのお知らせ

## 曾田秀彦先輩（二期生）の遺作紹介

草創期の同窓会活動にご尽力下さった曾田秀彦先輩（二〇〇四年五月ご逝去）の遺作「がん生活者の七三〇日」が西田書店から出版されました。

曾田先輩は明治大学文学部教授（専攻演劇論）として研究、教育に勤しまれる一方、執筆活動等でも精力的な活躍をなさった方です。お若いころには、お住まいが近くだったこともあり、母校で教鞭をとったこともあったと聞いています。

曾田先輩の闘病生活を支えてこられた奥様は、「親交のあった方に読んでいただけたら嬉しい」とおっしゃっています。同窓会事務局にお問い合わせ頂ければ手配のご協力をさせていただきます。

## がんは僕の生活の一部となった

ステージⅣ・スキルス性胃ガン・余命3ヶ月

苦しみ避けて、より自由に生きるという

あり方を選んだ患者の記録

在宅ホスピスは、こうしてスタートした。

西田書店 定価（本体一、五〇〇円＋税）

# 特別寄稿

## 今だからこそ

### 「建学の精神」



学校法人東邦大学理事長

伊 藤 元 博

二月から四月にかけて、卒業式、入学式が続いた。卒業式では様々な想いが去来するが、結局は彼らの未来に幸多かれと祈ることになる。入学式では、入学者の期待以上の成果があげられる学校生活が送れればと思う。

先日、付属東邦中学校と駒場東邦中学校の入学式が行われた。昨日まで小学生であった子供たちが制服を着て、緊張した顔で式場に座っている。両手は軽く握り、こぶしを作って膝の上に置いている。彼らが今まで経験したことのない姿勢であり雰囲気であったと思う。壇上から見ている私は昨日までの彼らと今日の彼らのギャップを思い描き、そこに座っている彼らの必死の表情を眺めながら、彼らを育成する責任と胸に込み上げるある種の感動を覚えた。

付属東邦中・高校は、東邦大学の建学の精神

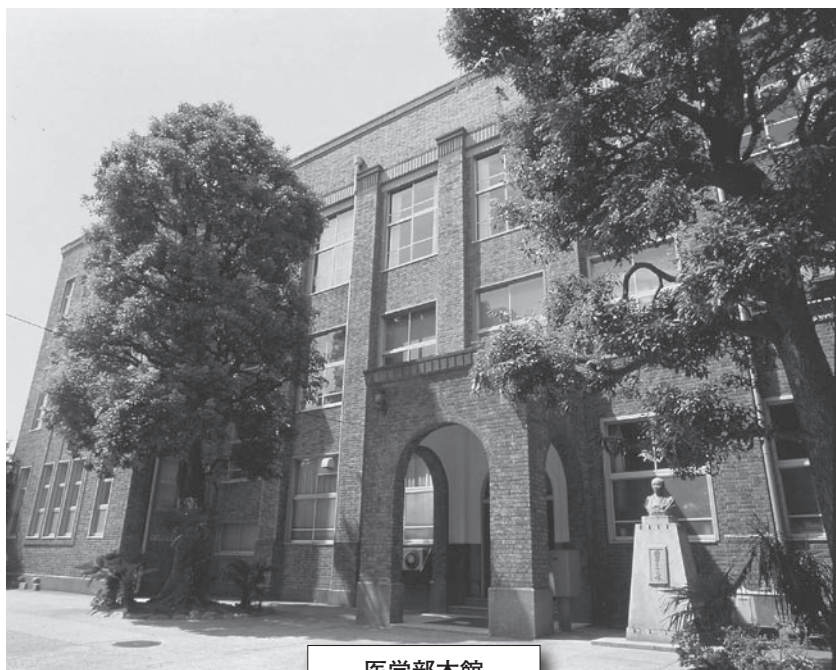
を教育理念としている。秋山校長は東邦中・高のガイドブックに建学の精神「自然・生命・人間」を明解に解説している。曰く、「宇宙・自然の無形の偉大な力を畏敬し、自然からその一部としていただいた生命を大切にし、科学技術の進歩や物質文明の限界を自覚して、人間の心の向上を目指して生きる」と。これは永遠の真理である。

また教育目標に「自分探しの旅」を掲げている。幅広い学習をすることにより、自分の可能性を開拓するということである。まさに

に、自分を見失った今の時代に最も相応しい教育目標である。今どき入学する学校選びに、理念、教育目標などを判断基準にすることはない。判断基準とするのは偏差値など目に見える数字である。しかし、旗幟をかかげることはどの組織にとっても最も大切なことである。目標、理念を鮮明に掲げることにより、その達成のために全員が一丸となれるのである。自然破壊、温暖化、エネルギー問題など地球規模の難問が噴出し、二十一世紀は自然をどう守ろうか、どのように再生するかという課題を持った世紀である。それ故、建学の理念は永遠のものであり、その学校の生き方、教育の方向を示す最も重要な役割を担っている。

「自分探しの旅」は、現代社会が複雑化し、流動化している中で、自分を見失ってしまう若者が多い時代に、付属東邦だけでなく全ての中等教育機関で目指すべき共通の教育目標である。中・高等学校の六年間はそういう意味で極めて大事な時代である。

二十世紀は科学技術の進歩や物質文明の限界を示した時代といえる。確かに人類に大きな幸せをもたらしたが、その負の産物もさらに大きいものがあり、人間は不完全なものであることを認識させた。二十一世紀は二十世紀を反面教師とした教育を目指さなければならない。「自然・生命・人間」の建学精神、「自分探しの旅」の教育目標は二十一世紀が目指すべき教育である。それだけに付属中・高の責任は益々重くなり、その責任の重さはわれわれの誇りでもある。



医学部本館



## 回 想

前東邦中・高等学校教諭  
浅 野 良 子

長い間、在職させていただきました東邦中・高等学校を平成二十一年三月三十一日付で定年退職となりました。

在職中は多くの教職員の方々、そして共に勉強してきました同窓生のみなさまにはいろいろお世話になりました。

振り返ってみれば昭和四十三年四月一日に東邦中・高等学校の教員となり、それ以来四十四年間東邦一筋に教員生活を送ってきました。

私の今迄の人生の三分の二ほどを過し、そこには数多くの思い出が数えきれないほどあり、一つ一つの場面が脳裏に焼きつき、私の頭の中は日付の薄れたアルバムのようになっています。着任した当初は中学校全部で六クラス職員室は十数名ほどの教員だけ、高校は男子部・女子部に別れ職員室も別々、級編成は学力別になっていたりしていました。中学校の職員室には公立学校を定年になられた超ベテランの先生方の中で教員生活が始まりました。数年で高校に移動となり、男子部・女子部も廃止され、教室内には男女共に机を並べての級になりました。私はその時級担任を受けることになりました。教

科が家庭科でこの時代は女子だけの授業、男子は体育と剣道を行っていましたので学級経営は難しくハラハラ、ドキドキの毎日でした。

そのような中で学校が火災にあい職員室・事務室棟が全焼し、夜八時すぎに連絡があり学校についた時には驚きと戸惑いで茫然とたちすみ涙がこみあげていました。そこに下村校長先生が肩をがっくりとおとし焼け跡をじっと見つめている姿は、今でもサイレンの音が聞こえてくると思い出されます。翌日生徒が登校し朝の HR での出欠席をとるにも出席簿がなく、教室での点呼は何もない中で一人一人呼び終った時は目がしらが温くなり話がつまってしまったその時、生徒全員が拍手をし自分達の氏名を全ておぼえていくれたという喜びと悲しい顔をしている私をばげましやさしく接してくれた男子生徒達、また教室は兵舎の後で木造作りのため冬は寒く、雨の日は傘をさしてトイレに行かなければならない日々でしたがやっと念願の新校舎が完成され、今の理学部の所から全生徒が自分の机、椅子を持つての大移動、大変でしたが誰一人として不平不満も言わず運び、新教室に入った時の生徒はさすがしく、さわやかな顔をしていました。

昭和五十七年四月に中学校へと移動になり定年まで勤めさせていただきましたが、義務教育の難しさに戸惑いながら、大勢の先輩同輩の教職員の皆さまに助けられ、また、支えられながら授業・学級経営を行い、何回もの卒業生を送り出してきました。教育制度も変り家庭科も男女共修になってからは男子生徒を教えられるか不安がありましたがいざ教室で授業を始めると日常生活に関係する内容多いだけにとても興味を持ち、特に調理実習になると熱心にそして楽しく授業を受けてくれた姿は今でも忘れられま

せん、そして調理実習は卒業後一人暮らしをしている時とても役に立っているので生徒のために、いつまでも元気で教員続けていてほしいと時々卒業生に会うと話をしてくださるのがとてもうれしくまた勇気づけられたものでした。

私は高校での卒業学年を担任したことはありませんでした。が授業を通して毎年何百人もの同窓生がいらっしゃいます。今では一人一人の氏名と顔は一致しないのが事実です。で申しわけないとおもっていますし、お会いする機会もありありませんがこれからは毎年開催されている同窓会には健康で都合のつく限り参加させていただき一人でも多くの同窓生にお会いし思い出話をたくさんしたいと思っています。

これからの私の人生は、今迄は教える側でしたが、これからは教わる側になり、今迄やりたことが山ほどあった中から幾つか挑戦し中途半端にせず納得のいくまでやりとげ達成感を味わえるように努力しよう、そして今迄無事勤められたのは公私共に数えきれないほど多くの方々からの支えがあったからです、その中でも特に人へのやさしさや、思いやりは自分が願ってえられるものではなく、周りの方が自然に出て受けれるものだと思います。その人へのやさしさや思いやりを私はたくさんいただきましたのでこれからは私が新たに知り合う周りの方々にさしあげられたいと思っています。そのために今は新しいことに挑戦する準備期間と心の充電中です。



## 「余裕と時代の先取り」



前東邦中・高等学校教諭  
亀井 勝雄

昭和四十七年、東邦中・高等学校に転任。兵舎を改築した教室、雨の日は傘をさして教室から教室へ移動、真夏の日には管理棟の屋根へ水道のホースで水をかけ屋内を冷す。中学校は二クラス・三クラス、高校は五十五、六人学級。生徒も北は北海道から南は沖縄、タイ国、中国と色々な場所から学舎へ。その為、白羽寮生活(習志野市の習を分解し白羽寮。習志会も同様の命名)。六年又は三ヶ年、親から離れての生活、良く頑張ったなあと思います。

昭和四十八年夏休みの終り頃、机・椅子等がかつぎりやカーでの大移動。引越しの年は学校全体も落ちつかず学力低下も懸念された。が、全職員、全生徒一致団結。学級数も高校八学級、中学六学級と整備。これからどうすればもっと学校を向上・発展するか、学校長の下全職員で意見の出し合い、その中の良いものを採用し実行に移す。その結果、みるみる向上。千葉県国公立・私学の中で県の御三家と言われるまでに。これも同窓生諸君が在学中良く学習し

た結果でもあります。

中学、高校、管理棟、体育館、プールも完成。その中で特色ある建て物は習志館。勉強する為の合宿所。生徒は朝起きて授業に行き、帰ってから又勉強の毎日。中には三週間に及ぶ生徒もいた。館長も数学を教え、一緒に宿泊の毎日。又、先生方も放課後疲れた体にムチ打って協力、夜遅くまで灯りがついていた。

生徒用ロッカーも本校独自の物。市販ロッカーより大きめに、床から五〇cm上にロッカーを乗せることによって、足で扉を開けることが出来ず、又、各自鍵を掛けることによって盗難予防。自己管理、物を大切にあつかうことを学んでいた。

グラウンドも砂ほこりを防ぐ為、自然芝の種を植えたが雨に流され、山芝を植えたが毎日使用し雑草の為でこぼこ。これからは人工芝の時代。この様に本校は時代の先取りともいえる方法を実施してきた。

学習面でも東大合格者十九名という時期もあり、自他共に認める進学校に発展。卒業生が努力を重ね、又、先生方も余裕を持って学習指導が出来た結果だと思っています。

ますます少子化時代、総合、廃校の波。生き生きと指導が出来生き生きと勉強が出来る学舎であれば、より一層発展するものと思いが静かに筆を置きます。



教え子に囲まれて



## 東邦中高同窓生の皆様へ

前東邦中・高等学校教諭  
松 本 辰 雄

三十三年間お世話になった東邦中高校を定年まで一年を残して早期退職しました。よき時代により学校で教員生活を送れたことに感謝でいっぱいです。お陰様で専門の英語や英語教授法の研究を思う存分できました。生徒に恵まれ、研究した指導法を実践できたことも大きな喜びです。趣味としての日英語比較や外国人のための日本語教授法なども研究できました。これが英語教育にも役立ちました。

東邦に就任して最初に驚かされたのは寮のほかに宿泊施設（習志館）を持っていたことです。遠距離通学者の多い東邦では、時間節約のため何人もの高三生が習志館に泊まっていました。高三以外の生徒でも、怪我などをしたときには乗り物通学ができず、習志館から松葉杖をついて登校していました。『医学部特訓』『薬学特訓』と銘打って泊りがけの夜間講習が年数回開催されました。講師として参加しましたが、よき思い出です。冬休みには高一対象に学校スキーがあり、実技指導者だけでなく、学年団全員が引率しました。実技指導者でない私は夜の生活指導担当でしたが、昼間は仕事がないので、河村

先生グループに生徒として入れてもらいました。そのお陰で四十歳近くになってスキーができるようになりました。東邦にいなければ未だに未経験だったであろうものが二つあります。顧問として、高校ではテニス部、中学ではオーケストラが中心でした。ソフトテニスの経験はあっても、硬式テニスは初めて。顧問として実戦経験も必要と考えて、プロのコーチにプライベートトレッスンを依頼。はつきりと「その年から始めてもうまくなりません。指導法を教えます。」といわれました。指導法を教わるということからは自分が生徒になって打つわけですから、週二回を一年間通して、自分でも楽しめるようになりました。球出しは一流のコーチに負けないまでになりました。今でもリハビリ程度のテニスを楽しんでいます。オーケストラは舞台裏の仕事がすべて。演奏者として舞台に立ったことは何回もありましたが、舞台裏は未知の世界でした。一年間はほとんど顧問としての仕事もせず、ひたすら勉強。本を読みあさり、ホールのスタッフの方に教わり、舞台裏のことがやっとなつかめました。進行表や舞台図面と作り方がわかったのは顧問を引き受けたればこそ。舞台裏が病みつきになり、シドニーのオペラハウスやウイーンのオペラ座などバックステージツアーには機会がある度に参加するようになりました。

退職後、知人の紹介でボランティア活動をしています。主として中南米から働きに来ている人たちの子弟

に対する学習支援です。スペイン語とポルトガル語の辞書を傍らに置いて頑張っています。スペイン語の子供たちとポルトガル語の子供たちはそれぞれ自国語で話しても、お互いにほとんど通じています。羨ましい限りです。彼らに負けないように、自分でもまだまだ勉強しようと思っています。



教職員送別会





## 先輩という名の恩人

二十三期生 杉浦直人

私は、現在『キングプリンティング株式会社東京支社』に勤務しています。名前の通りキングサイズの印刷を行っており、駅で見かける映画のポスターやファーストフードの店先に掲げてあるバナーを印刷しています。印刷といっても我が社で行っているのは『オフセット』と呼ばれる印刷方式を採用しています。よくインクジェットとの違いについて説明するのですが、印刷は基本的に青・赤・黄・黒の4色の点の集りで印刷物を再現しています。一度ルーペで印刷物を確認すると面白いですよ！創業九十一年目を迎える我が社は、今の若い人には想像できないでしょうが、『映画看板』を手書きで書いていた職人が絵がうまかったので各地の映画館で引張り風となり、忙しくて体がもたないとの理由で看板を印刷で対応することを思いつき、大型印刷を始めたのがきっかけでした。全国でこのサイズ（最小B0 1030×1456・最大1300×2030）程の印刷ができる業者は四社しかなく、ある意味ではニッチ産業になるものと思います。それを印刷・出力する機械も、5m物を出力する、一・六m幅を約一分で出力する、等

日本で一号機ばかりを揃えていることは、業界でのリーディングカンパニーを維持していくためにも不可欠な投資となっています。

ところで、なぜ今の会社に就職しているのかということですが、大学は子供のころより石ころ集めが好きだったので（誰もがそうだと思いますがズボンに拾った石を持って帰って大事に飾った事ありませんか？）趣味である地質学を学び、最初の就職は趣味を生かしたボーリング会社へ入社しました。今流行の先端を行く地熱発電開発の為の二〇〇〇m級調査ボーリング現場や温泉開発・アクアライの工事現場等色々経験することができました。現代の新しい地下鉄や、鉄道トンネル（新幹線）は前社の機械によって掘削または、工事に使用されています。バブルが終わりかけ、十三年間勤めた後に親戚の建設会社に再就職しました。総務部・資材部・ISO認証取得の為、管理責任者に任命されました。公共事業に不況の波が押し寄せて来た時期に、前職の上司より『うちの会社に来ないか？』との誘いがあり、考慮し再々就職しました。前職の上司は、同じ大学・同じ学科の先輩で、私が退職してから時々訪ねてこられたり、年賀状のやり取りは毎年欠かさず行い、近況は随時報告していました。先輩も転職して七年しかたっていないく、社長就任もまだ四年目ということもあり、陰ながら力になって行きたいと思います。私もまだ入社して三年経過しておりませんが、何とか先輩の指導の下、日々の仕事をこなしております。『持つべきは良き友』とよく言いますが私にとっては節目節目で手を差伸べてくれる『持つべきは良き先輩』だと思っています。

## 現代日本の「サブカルチャー」 探求への途

四十三期生 玉川博章

東邦高校卒業後、私は大学、大学院と文系の研究者としてのコースを歩んできました。修士、博士課程では九州大学大学院比較社会文化学部（所屬しておりました。長い割に何をやっていくのかよく分からない名称ですが、国立大学の学部改造によって廃止された教養部を発展させた組織で、文理問わず様々な分野の教員を擁し、学際的研究を謳った大学院です。大学院では、社会学、メディア論、情報通信産業等について授業を受けながら、論文執筆など研究者としての基礎を身につけました。

設立の経緯から自由な雰囲気のある大学院であったこともあり、私が研究を始めた時点ではアカデミックな世界では取り上げられることの少なかったマンガやライトノベルとよばれる十代向けの娯楽小説を研究対象とし、青少年向け出版の分析をしました。また、五十万人が集まるコミックマーケットという漫画ファンのイベントを対象とした研究プロジェクトにも参加し、数万という規模のアンケート調査の実務を取り仕切り、分析も担当しました。

現在では、メディア産業を専門とする民間のシンクタンク所屬し、広告代理店や行政機関の調査研究に携わり、アカデミックな経験を活かしながら、メディア産業やアニメ、青少年のメディア環境などについての仕事をしております。また、仕事の傍ら、書籍や雑誌での論文発表も続けており、昨年には『それぞれのファン研究』（風塵社）という共著を世に出すこともできました。また、今年度から、共愛学園前橋国際大学で非常勤講師としてアニメやマンガに

ついでに講座を担当することとなりました。

大学では一般的な院生から助教、講師へと進むキャリアとは異なったルートを私は辿っています。現在、文系では大学院生数に対して就職先となるポストが少なく、私を含め多くの若手研究者が苦勞をしているのが実情です。そのような中、ビジネス及び行政の側面の強い職務と共に、アニメやマンガ、コミックマーケットなどの研究を進め、その二つを互いにリンクさせながら経験を重ねてこられたことは、環境に恵まれたと思っています。

マンガやアニメは学問対象としては新しい分野ですが、新聞等で話題となることは珍しくなくなりました。このような状況変化の中で、以前は研究対象とはみなされていなかった分野をいかに社会的に位置づけ、分析していくかを念頭に置き、アカデミックな世界と一般社会の両方に受け入れられるような研究を続けていきたいと思っています。

## 発掘調査に魅せられて

五十二期生 佃 竜 太

時間の流れとは早いもので、自分が東邦高校を卒業して千葉大学に入学してから四年目の春を迎えることになった。何の因果か、理系高校の東邦高校から歴史分野に進んだ自分ではあるが（山岸先生がおっしゃるには「ヘンな奴」）、以下千葉大学に入学してからの自分を「大げさに言えば『自分史』を」赴くままに書いてみたいと思う。

「飛鳥時代を研究したい」と、今思えば漠然とした思いで千葉大学に入学したのが今から三年前になる。入った学科が史学科とあって、周

りには歴史オタクの山、山、山。北は北海道から、南は鹿児島まで、やりたいことは旧石器から近代、日本史から南米史まで、一癖も二癖もあるつわものどもの巣窟である。そんな彼らと受ける授業は歴史一色。まさに天国である。

そんな中、夏休み期間に行われる集中講義のひとつに「発掘」があった。夏の北海道で二週間の合宿生活だという。これでテンションが上がらないわけがない。当然のごとく単位を登録した。まさか、その現場が東邦高校の修学旅行で行った標津町であることや、これが四年間に及ぶ地獄の考古学生活になるとは思いもしなかったのであるが。

そんなこんなで、この三年間、北海道の現場（伊茶仁ふ化場第一跡）に三度、千葉県館山市の現場（栄ノ浦遺跡・安房神社洞窟）に二度、発掘に参加する機会を得ることができた。苦しいことばかりが思い浮かぶが、貴重な体験の数々である。

また、今年の三月には、奈良県の明日香村の甘樫丘東麓遺跡の発掘に参加することが出来た。この遺跡は、六四五年におきた大化の改新で殺される、蘇我蝦夷・入鹿邸の推定地にあたる。卒論を「飛鳥京城論」（飛鳥地域における宮都計画線の存在の有無に関する論考）でやろうと思っている自分には最高の現場であった。また、発掘が、日本で最高峰の考古学組織である奈良文化財研究所によるものであったので、不安半分、期待半分で何うこととなった。

一ヶ月という長くも短い期間お邪魔したのだが、やはり自分の実力のなさを痛感する結果となった。だが、人生の岐路となるであろう、かけがえのない経験をすることが出来たのも事実である。

自分も今年で二十一歳になった。いつまでも

フラフラと学生でいたかったが、身の振り方も考えなければいけない時期に来てしまった。将来、文化財系に就職することは（まだまだ諦めてはいないが）現在の状況では非常に厳しい。だが、この三年間で文字通り体感した考古学の世界をこれからの人生に生かして行きたいと思う。

## 過去と向き合い今を生きる

四十五期生 山川 眞 佐 子

私は中学・高校時代の六年間を東邦で過ごし、そして今、東邦にいます。社会科の非常勤講師として採用していただいて二年目になる。今年度は、中学校の地理と歴史を担当させていただいている。同窓生の近況を伝えるページに投稿を、とのことで筆をとらせていただいた次第である。

東邦を卒業してから現在に至るまでのことを振り返ってみる。高校を卒業し、恩師の母校である大学に進んだ。その大学は、恩師が勧めて下さっただけあり、様々な面で素晴らしい大学だった。気の合う友達がいた。研究をゼロから教えて下さる先生方に出会った。部活（少林寺拳法）に熱中した。結局、大学院まで六年間通った。

イギリスに留学をした。中学からの夢だった。二十五歳にして実現した。台湾からの留学生と仲良くなり、イギリスの色々な場所を旅した。パーティーという名の座談会をよくした。どんな国籍の人も食べられそうなものを用意した。ある時のパーティーには、様々な国や地域をバックグラウンドとする友人達が集まった。アメリカ、フランス、イギリス、台湾、日本、イスラエル、そしてパレスティナ。友人の



友人、という具合に皆が思い思いに知り合いを連れてきたらこうなる。そのパーティーも中盤になると、フランスの学校での、ムスリム生徒へのスカーフ着用禁止の政策に話しが及んだ。フランスからの留学生以外は、「あれはおかしな政策だ」とか「人権無視だ」という反応をした。フランスからの留学生は反論する。「スカーフ着用問題は、フランス人以外にはわからない、根深い問題。他国の人が口をはさむべきじゃない」と。そして続ける。「アメリカやイスラエルもいろいろなことをしているじゃない？」。オブラートに包んではいるが、核心を突く一言。私ははっとして、パレスティナの留学生の顔を見た。グラスを見つめ、何も言わない。非常に印象的な表情だった。今でもよく覚えている。台湾の友達がそこで、「政治的な話はやめない？」と提案し、それっきりになった。後は自分達の研究の話やら、自分の国や地域の文化や教育の話をしているうちに日が昇ってきた。このように非常に多様な民族的バックグラウンドを持つ友人達が集まるパーティーは一度だけだったが、日本人だけでパーティーをする、ということとは一度として無かった。いろいろな考えを持つ人たちと時間を共有した。ワールドカップ開催時には、日本と対戦した国からの留学生と共にテレビで観戦した。皆初対面だった。お互いの国を思い思いに応援した後は、お互いの国のサッカーをたたえあい、そして両国の交流に乾杯をした。いろいろなことがあった。かけがえのない一年だった。

大学院を修了し、小学校で働いた。小学一年生の担任になった。いろんな子に出会った。いろいろなことはあった。でも子どもたちの笑顔に、いつも助けられた。そして周りの先生方が手を差し伸べて下さった。保護者の方も非常に

協力的だった。ありがたかった。縁あって、東邦に戻ることにになった。子どもたちと別れるのは辛かった。でも自分がいなくても子どもたちは育っていくものだ、と自分を納得させた。終業式の後、それっきり子どもたちとは会わなかった。それでもいつも子どもたちのことを考えていた。この四月、教え子たちは三年生になっていた。そのまますぐ成長していくことだろうと思っていた。ところが、悲しい知らせが届いた。教え子である一人の女の子が亡くなった。お葬式の後、小学校に行き、教え子たちと話しあった。「悲しいけど、泣いてばかりじゃだめだね。どうすればいいのかな？」と問いかけた。あるやんちゃな男の子が答えた。「○○ちゃんのために、まっすぐ生きていく」。心が育っている、と感じた。今でも、亡くなった女の子が夢によく出てくる。いつも、「山川先生」と微笑んで話しかけてくれる。でもそれ以外何も言わない。夢の中のその子は何も教えてくれないが、私はこう思う。今、ここに在る自分をまっすぐ受け入れ、今できることを精一杯しよう、と。

私にとって、母校の教員になるということは、素晴らしい喜びであると同時に、プレッシャーでもある。教え子たちは皆、かわいい後輩である。だからこそ、私にできることは全てしよう、授業は常に全身全霊で行おう、と考えている。そして生徒達がそれに応えてくれる時、非常に大きな喜びを感じる。例えば授業後に、「わからなかったことがあった!」とか、「先生の話聞いたら、もっと自分で調べてみたいと思った!」「前回の授業の後、こんなこと調べてみたんです!」という反応が生徒たちから返ってくる。おこがましいとはわかりつつ、自分の授業を小さなきっかけとして、生徒たちに探求心が芽生えたかな? と感じる。

また、同僚である先生方は私にとって恩師である。いつも暖かく私を受け入れて下さり、そして時には厳しくいさめて下さる。東邦で過ごした六年間と同じである。優しくも厳しい先生方は、教師の立場であらうとも私自身が学習者であるということを思い出させて下さる。先生方は、教師自身が、常にアンテナを張って社会の動きに敏感であること、課題を解決するために常に探求し続けること、常に周りの人の話に耳を傾けその人から学ぶということ、その他様々なことを教えて下さる。それが東邦教育なのである。私は、直接的に生徒指導に関わることはできないが、社会科という教科を通して、あるいは日々の関わりの中で生徒たちに様々なことを伝えることができれば、と常に願っている。しかしそれと同時に、私が学んできた多岐にわたることを生徒に伝えることができていくのか、悩み、そしてプレッシャーを感じている。二十八年間、いろいろなことを経験してきた。経験しなくてもいいと思うことまで。これから先も様々なことに直面することであろう。ただ、これまで、いろいろな場面で多くの人に支えられて生きてこられた。今まで出会った人たちのことを忘れず、関係性の中に自分自身が存在している、ということをお忘れず、これからも前に進んでいきたい。

## 思い出と近況報告

十二期生 梶野良夫

私は昭和四十一年三月に高校を卒業しました。同窓会報は毎回拝見しております。その中で永い間教鞭をとられた生物の小室先生も既に退職されたことを知りました。最初の授

業で細胞は小室（セル）でお名前と同じと教えてくれたこと、今でも覚えています。それから、数学の早崎準一郎先生から私語をしていて、最初にチョークを投げつけられたのは私だと思います。先生は野球をしていてコントロールは抜群でストライクでした。

高校の三年間は陸上競技部に属し、勉強よりも部活の方が熱心だったと思います。当時は、高校が現在の大学があるところでした。下校時刻が厳しく、もっと練習したかったのですが、その頃になると校内に住んでいらした有坂校長先生が、睨みを利かせて散歩しているのやむを得ず、帰りを急ぎました。大久保駅から帰るのですが、空腹のため途中の甘太郎焼屋に寄ったことを思い出します。在学中の大きな出来事としては、米国ケネディー大統領暗殺、新潟地震、東京オリンピックがあつたと思います。新潟地震の時は丁度休み時間で校庭にいましたが、地面が揺れる状況からこれは大きいと感じました。東京オリンピックでは学校から推薦されて聖火リレーに参加し、幕張のあたりを走ることができました。これは私にとって本当に光栄に思っており、長くスポーツを続ける動機になつています。オリンピックには陸上とサッカーの観戦に行きました。陸上競技は卒業後も続けており、現在も市民マラソン等に参加しております。健康と生きがいのため、動ける限り走り続けるつもりです。また、陸上の競技役員として、習志野市民陸上大会のお世話もしており、役員をしながら母校の後輩達の応援をしております。後輩達は顧問の御喜先生の指導よろしく、活躍しております。現在、一年前から退職しており、自由な時間をサラリーマン時代にやり残したことを実

践しております。陸上のボランティア等で社会貢献を続けながら、昨年六月から妻と四国八十八札所の歩き遍路に挑戦しています。一週間程度を繰り返しながら一年掛けて約一、三〇〇kmの内の半分の距離に達しております。行程は徳島市を出発してから室戸岬、高知市、足摺岬を経て愛媛の境まで達しました。毎日二〇から三〇km歩き、札所で般若心経を唱え、宿泊したお寺で住職のお説教を聞く生活です。ほとんどの遍路さんは乗り物で巡り、歩きは本当に少数派です。なぜなら、体力、時間、資金がいるのです。しかし、歩きでないと修行としての醍醐味は味わえない気がします。道中こんなことがありました。老婦人に呼び止められ、ポリ袋に入れた五円硬貨五、六十枚を渡されました。ビックリして理由を伺うと、「自ら札所めぐりができないので、代わりにお参りしてください。」とのことでした。その他、途中でお茶、お菓子、果物のお接待を数多く受けました。四国にはお接待の習慣があるのです。この間で感銘したお話は、道中困難（風雨、災難等）に遭遇しても、いやだと思わないで、これ修行として前向きに考えなさい。他人には笑顔と感謝で接しなさいということでした。笑顔と感謝にはお金が不要ですね。一日中雨の時もありましたが修行と思つて頑張りました。しかし、千年以上前の弘法大師の修行の旅は現在と比べると道路事情が悪く想像を絶します。全札所結願には更に一年かかりそうです。

私の長男は、縁あって東邦大学理学部を卒業しました。入学式や卒業式で久しぶりに懐かしい同じ校歌を聞きました。校歌を聞くと高校時代を思い出させました。校歌を聞くと同窓生の皆様のご活躍を祈念いたします。



ホノルルマラソン完走

### 原 稿 募 集

同窓会では、次回会報に記載する原稿を募集しております。

- ・ 内容・近況等ご自由に
- ・ 字数・一〇〇〇字程度
- ・ 送付先・習志野市泉町二一―三十七 東邦大学付属東邦中高同窓会

「ならしの」原稿係

FAX 〇四七（四七二）一一六〇

発行予定・平成二十二年五月頃





クロスカンントリーリレー  
谷口、鹿倉、守、瀬辺（優勝）  
アルペン個人  
松原拓哉、白石朋敬  
全国高校総体 クロスカンントリー個人  
瀬辺、谷口、守、岩部、佐藤  
リレー 谷口、守、瀬辺、及川  
アルペン 白石  
国体高校選抜（個人）  
瀬辺、谷口  
ジュニアオリンピック  
瀬辺、谷口、岩部

#### 四、ご退職の先生

平成二〇年度末をもって、浅野良子先生（家庭科）、亀井勝雄（保健体育科）、松本辰雄（英語科）が東邦中・高校をご退職になりました。  
浅野先生は昭和四十三年四月に本校に奉職。当時の東邦は、ご年配の先生が多かっただけに、若くてチャームアップな先生は「東邦中・高に咲く一輪の花」の感がありました。その後、先生は、あの板橋秀子先生と中学校家庭科の最強タッグを確立。厳しくも心優しいご指導で生徒を導いてこられました。六十五歳定年でのご退職ですが、年齢を重ねてますますお元気です。  
亀井先生は昭和四十七年四月に奉職。当時の教え子に同窓会の渡邊和彦副会長、牧栄理事がいますが、彼らの言によれば、青春学園ドラマの主人公を地で行く熱血教師だったとのこと。サッカークラブ、バレー部の顧問として、現在の隆盛の基礎を築く一方、生徒指導部長、保全部長など、学校組織の要職を長きにわたり務められました。浅野先生と同様、定年でのご退職です。

松本辰雄先生は、昭和五十一年四月に奉職。中・高を何度も往復しながら、持ち前のバイタ

リティーで、東邦の英語教育を支えてこられました。定年を数年残してのご退職ですが、学校の枠を、また、日本という国の枠を越えての「青少年教育」の実現を目指して、今後の人生を頑張りたいとのこと。ますますのご活躍をお祈りしたいと思います。

三名の先生方からは、玉稿寄せて頂きました。特別寄稿のページをご覧下さい

#### 五、母校の教壇に立つ同窓生（敬称略）

|              |         |           |       |
|--------------|---------|-----------|-------|
| 小高 昌次        | 数学科     | 高校教務部長    | 十三期生  |
| 岡田(旧姓 桜井)久仁子 | 保健体育科   | 高校一年学級担任  | 十五期生  |
| 御喜 和         | 理科(生物)  | 中・高総務企画部長 | 十八期生  |
| 池田 浩司        | 理科(生物)  | 中学三年主任    | 二十九期生 |
| 前川 智子        | 数学科     | 中学三年学級担任  | 三十三期生 |
| 宮島 知里        | 国語科     | 中学二年副担任   | 三十四期生 |
| 久富夕紀子        | 公民科(政経) | 高校三年副担任   | 三十六期生 |
| 岡田 隆治        | 技術家庭科   | 中学三年級担任   | 三十六期生 |
| 山口 武史        | 数学科     | 高校二年学級担任  | 三十七期生 |
| 加藤 充         | 公民科(政経) | 中学三年学級担任  | 三十七期生 |
| 土田 雄大        | 数学科     | 中学二年学級担任  | 四十五期生 |
| 小林 桂         |         |           |       |

保健体育科 中学一年学級担任 四十八期生  
山川(旧姓 白石) 眞佐子

地歴科 中学非常勤講師 四十五期生

#### 学校説明会・学校見学会

##### 中学

学校説明会 ①十月二十一日(水)  
②十月二十二日(木)

- ・両日とも十四時～十五時半
- ・於 第一体育館アリーナ
- ・予約、上履きともに不要です。

##### 個別の学校見学

- ・原則として土曜日の十時に本館ホールに集合
- ・要電話・ネット予約 上履き不要

##### 高校

学校説明会 十月三十一日(土)

- ①十時～十一時半
- ②十四時～十五時半
- ・於 セミナー館視聴覚大ホール
- ・要電話・ネット予約 上履き不要

##### 学校見学会

- ①七月二十五日(土)
- ②八月二十九日(土)
- ③十一月二十一日(土)

- ・いずれも十時～十一時半
- ・要電話・ネット予約 上履き不要

※ TEL 047-472-8191  
URL <http://www.tohojh.toho-u.co.jp>



## 平成二十一年度

## 入 試 結 果

進路指導部長 小村 卓司

平成十二年以来九年ぶりに東京大理三に合格  
東京工業大十一名合格は

平成五年と並ぶ東邦最高記録  
東北大九名、名古屋大、大阪大、九州大など

旧帝大に合格者  
国立合格者数は二〇名

早慶上智理科大でも大きく躍進

## 国立大学入試

平成二十一年度の大学入試センター試験は志願者五四三、九八一人で、昨年よりも五九六人の増加だった。内訳は現役が三、二五〇人増加したのに対し、浪人は二、五三三人減少というものだった。本校では生徒数三六六人に對して、志願者三四四人。出願率は九四・〇%だった。昨年が三四五人の生徒数に對して、志願者三二人だったので、ほぼ同じような出願状況だったといえよう。

さて、実際のセンター試験は一月十七・十八日に実施された。今年度の特徴は全般的に難化したということだろう。特に英語では、筆記でマイナスイ〇・二四点、リスニングでマイナス五・四二点と全国平均点が下がった。ほぼ全員が受験する英語だけに心理的な影響が大きかったはずである。

自己採点による本校の平均点と大学入試センターの

## 【その他】

| 大学名              | 合格 |   |    | 学部名          | 合格 |   |    | 進学 |
|------------------|----|---|----|--------------|----|---|----|----|
|                  | 現  | 浪 | 計  |              | 現  | 浪 | 計  |    |
| 防衛医科大学校          |    | 2 | 2  |              |    | 2 |    |    |
| 気象大学校            | 1  |   | 1  |              | 1  |   | 1  |    |
| 国立看護大学校          | 1  |   | 1  |              | 1  |   | 1  |    |
| 防衛大学校            | 3  | 1 | 4  | 人文・社会<br>理工学 | 2  | 1 | 3  | 1  |
| 都立広尾看護専          | 1  |   | 1  |              | 1  |   | 1  |    |
| 東京スクール<br>オブビジネス |    | 1 | 1  |              |    | 1 |    |    |
| 桑沢デザイ<br>ン研究所    |    | 1 | 1  |              |    | 1 |    | 1  |
| 東 京 工 業 大 学      | 1  |   | 1  |              | 1  |   | 1  |    |
| そ の 他            | 7  | 5 | 12 |              | 7  | 5 | 12 |    |

|     |     |     |      |  |     |     |      |
|-----|-----|-----|------|--|-----|-----|------|
| 総 計 | 773 | 280 | 1053 |  | 773 | 280 | 1053 |
|-----|-----|-----|------|--|-----|-----|------|

※本人からの申し出によっての数字です。  
大学などの発表数とは異なります。

| 年度 |    | 英語    |       | 国語    | 数学   |      | 理科   |      |      | 地歴   |      | 公民   |      |      |
|----|----|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|    |    | 筆記    | リスニング |       | 数学ⅠA | 数学ⅠB | 物理Ⅰ  | 生物Ⅰ  | 化学Ⅰ  | 世界史B | 日本史  | 現代社会 | 倫理   | 政治経済 |
| 19 | 本校 | 160.8 | 38.3  | 130.3 | 64.6 | 61.2 | 74.7 | 74.3 | 70.5 | 75.4 | 78.0 | 66.9 | 55.9 | 72.7 |
|    | 全国 | 131.1 | 32.5  | 110.0 | 54.1 | 48.9 | 64.4 | 67.0 | 61.4 | 67.8 | 67.0 | 58.4 | 50.3 | 69.7 |
|    | 差  | 29.7  | 5.8   | 20.3  | 10.5 | 12.3 | 10.3 | 7.3  | 9.1  | 7.6  | 11.0 | 8.5  | 5.6  | 3.0  |
| 20 | 本校 | 158.8 | 35.5  | 140.6 | 82.4 | 66.3 | 75.8 | 74.2 | 74.4 | 72.8 | 78.7 | 75.7 | 67.5 | 73.9 |
|    | 全国 | 125.3 | 29.5  | 121.6 | 66.3 | 51.0 | 64.6 | 57.6 | 64.2 | 59.0 | 64.3 | 66.4 | 60.6 | 67.6 |
|    | 差  | 33.5  | 6.0   | 19.0  | 16.1 | 15.3 | 11.2 | 16.6 | 10.2 | 13.8 | 14.4 | 9.3  | 6.9  | 6.3  |
| 21 | 本校 | 145.5 | 29.6  | 136.2 | 77.9 | 65.6 | 76.3 | 72.3 | 80.2 | 81.4 | 77.2 | 71.5 | 67.6 | 77.5 |
|    | 全国 | 115.0 | 24.0  | 115.5 | 64.0 | 50.9 | 63.6 | 55.9 | 69.5 | 62.7 | 57.9 | 64.5 | 60.2 | 71.5 |
|    | 差  | 30.5  | 5.6   | 20.7  | 13.9 | 14.7 | 12.7 | 16.4 | 10.7 | 18.7 | 19.3 | 7.0  | 7.4  | 6.0  |

注) 本校は自己採点集計の平均点、全国は大学入試センター発表の全国平均点  
差は本校－全国

発表した全国平均点を三カ年にわたって比べると、以下の表の通りである。全国平均をどの教科・科目とも上回ったが、特に英語、数学、理科の生物、地歴の世界史・日本史が大きく上回ったことがわかる。(英語・筆記と国語は二〇〇点満点) このように今年度も例年同様にセンター試験では健闘したといえよう。

国立大学など主要大学の合格状況は次のページのとおりである。国立合格者は現役・浪人あわせて一〇九名。昨年は浪人の合格者が減ったために、九一名と一〇〇を割り込んだが、今年は例年の数字を回復した。東大は四名で伸びなかったものの、理科三類(医学部)の合格者を平成十二年度入試以来九年振り出した。東大に次ぐ難関大学では、一橋大では二名だったが、東京工業大学で十一名の合格、また旧帝大では東北大に九名、北海道大学に二名、以下名古屋大・大阪大・

九州大に各一名の合格者を出した。健闘したといっているのではないだろうか。また、国立医学部では、東大理三をはじめ、千葉大医学部、北海道大、東北大、筑波大(三名)、東京医科歯科大などに合格者を出し、現役で七名。これも昨年は一名と不振だったが、例年に近い合格者を出すことができた。

## 私立大学入試

十八歳人口が減少している中で、主要私立大学の延べ出願者数は二年連続で増加した。これは特に首都圏の大規模私立大学を中心に積極的に学部の新設や改組、あるいは入試方式を複線化するなどの改革を進めてきたことによるものである。

まず学部系統別の出願状況を見ると、顕著なのが文系不人気である。法学部は新司法試験の合格者数が思ったよりも伸びないことによる敬遠傾向。そして経済・経営・商系の学部は、昨年九月のアメリカ発の金融危機からの世界的な不況を反映して敬遠傾向がでている。一方不況に強い理系では理学部系と農学部系で人気が出ているというのが全体の傾向のようだ。

大学の難易度別にみると、早・慶・上・理科大クラスでは全体的には減少傾向がでている。特に早稲田大の法は大きく志願者を減らした。その次のクラス、いわゆるMARCHクラスでは青山学院大が志願者を大きく伸ばしたと、逆に法政大が軒並み減少させたことが顕著な特徴のようである。

さて、このような全国的な傾向の中で本校生も受験したのだが、主要大学の結果は後のページの通りである。特徴としては、慶應大は例年並みの合格者数が出たものの、早稲田大・上智大・東京理科大では今一歩の合格者数にとどまったことがまずあげられる。現実には慶應大と早稲田大の難易度は横並びではなく、ここ数年慶應大が上回っているといわれているので、本校生の指向が全国の傾向と同様に早稲田離れをしていることが原因ではないかと思われる。

医・歯・薬・獣医系では、医学部は例年に近い合格者数が出た。しかし、全国的な歯・薬・獣医学部の不人気傾向が本校でもあらわれている。しかし不況感が強まる中、資格を重視する傾向が強まると、一転して人気が回復することは十分に考えられる。

## 平成 21 年度入試 大学等合格者・進学者数

## 【国公立大学】

| 大学名    | 合格<br>現浪計 | 学部名  | 合格<br>現浪計 | 進学<br>現浪計 |
|--------|-----------|------|-----------|-----------|
| 北海道    | 2         | 工    | 1         | 1         |
| 弘前     | 1         | 医    | 1         | 1         |
| 岩手     | 1         | 農    | 1         | 1         |
| 東北     | 4         | 法    | 1         | 1         |
|        | 5         | 理    | 2         | 2         |
|        | 9         | 医    | 1         | 1         |
|        |           | 歯    | 1         | 1         |
|        |           | 農    | 1         | 1         |
| 筑波     | 9         | 人文文化 | 1         | 1         |
|        | 2         | 社会国際 | 2         | 1         |
|        | 11        | 理    | 2         | 1         |
|        |           | 医    | 2         | 1         |
|        |           | 体育   | 3         | 3         |
|        |           | 生命環境 | 1         | 1         |
| 宇都宮    | 1         | 農    | 1         | 1         |
| 群馬     | 1         | 文    | 1         | 1         |
| 千葉     | 12        | 教育   | 2         | 2         |
|        | 10        | 理    | 4         | 3         |
|        | 22        | 工    | 4         | 2         |
|        |           | 医    | 1         | 1         |
|        |           | 園芸   | 1         | 2         |
| 東京海洋   | 3         | 海洋工  | 1         | 1         |
|        | 3         | 海洋科学 | 2         | 2         |
| お茶の水女子 | 1         | 理    | 1         | 1         |
| 電気通信   | 2         | 電気通信 | 2         | 1         |
|        | 1         | 文科二類 | 1         | 1         |
| 東京     | 2         | 理科二類 | 1         | 1         |
|        | 2         | 理科三類 | 1         | 1         |
| 東京医科歯科 | 1         | 医    | 1         | 1         |
| 東京外国語  | 2         | 外国語  | 2         | 1         |
| 東京学芸   | 1         | 教育   | 1         | 1         |
| 東京芸術   | 1         | 美術   | 1         | 1         |
| 東京工業   | 8         | 第1類  | 1         | 1         |
|        | 3         | 第3類  | 1         | 1         |
|        | 11        | 第4類  | 4         | 4         |
|        |           | 第5類  | 3         | 3         |
|        |           | 第7類  | 2         | 2         |
| 東京農工   | 1         | 工    | 1         | 1         |
| 一橋     | 2         | 経済   | 1         | 1         |
|        | 2         | 商    | 1         | 1         |
| 横浜国立   | 4         | 経済   | 1         | 1         |
|        | 3         | 経営   | 2         | 2         |
|        | 7         | 教育人間 | 1         | 1         |
|        |           | 工    | 2         | 2         |
| 富山     | 1         | 医    | 1         | 1         |
| 福井     | 1         | 医    | 1         | 1         |
| 山梨     | 1         | 医    | 1         | 1         |
| 信州     | 1         | 農    | 1         | 1         |
| 岐阜     | 1         | 医    | 1         | 1         |
| 名古屋    | 1         | 理    | 1         | 1         |
| 大阪     | 1         | 理    | 1         | 1         |
| 神戸     | 2         | 経済   | 1         | 1         |
|        | 2         | 工    | 1         | 1         |
| 九州     | 1         | 農    | 1         | 1         |
| 熊本     | 1         | 薬    | 1         | 1         |
| 高崎経済   | 1         | 地域政策 | 1         | 1         |
| 埼玉県立   | 1         | 保健医療 | 1         | 1         |
| 千葉保健医療 | 1         | 保健科学 | 1         | 1         |
| 首都大学東京 | 2         | 健康福祉 | 2         | 1         |
| 横浜市立   | 1         | 国際総合 | 1         | 1         |
| 国公立大計  | 62        | 41   | 103       | 62        |
|        |           |      | 41        | 54        |
|        |           |      | 36        |           |

## 【私立大学】

| 大学名  | 合格<br>現浪計 | 学部名 | 合格<br>現浪計 | 進学<br>現浪計 |
|------|-----------|-----|-----------|-----------|
| 酪農学園 | 1         | 酪農  | 1         | 1         |
|      | 2         | 獣医  | 2         | 1         |
| 岩手医科 | 1         | 医   | 1         | 1         |
| 自治医科 | 1         | 看護  | 1         | 1         |
| 獨協医科 | 1         | 医   | 1         | 1         |
| 城西   | 1         | 理   | 1         | 1         |

| 大学名    | 合格<br>現浪計 | 学部名  | 合格<br>現浪計 | 進学<br>現浪計 |
|--------|-----------|------|-----------|-----------|
| 獨協     | 4         | 外国語  | 1         | 1         |
|        |           | 法    | 1         | 1         |
|        |           | 経済   | 1         | 1         |
|        |           | 国際教養 | 1         | 1         |
| 文教     | 2         | 教育   | 2         | 2         |
| 川村学園女子 | 1         | 文    | 1         | 1         |
| 城西国際   | 1         | 薬    | 1         | 1         |
| 千葉工業   | 2         | 工    | 2         | 1         |
| 帝京平成   | 1         | 薬    | 1         | 1         |
| 東京歯科   | 1         | 歯    | 1         | 1         |
| 千葉科学   | 1         | 薬    | 1         | 1         |
| 青山学院   | 16        | 総合文化 | 2         | 2         |
|        | 1         | 法    | 4         | 4         |
|        | 17        | 国際政治 | 2         | 2         |
|        |           | 経済   | 2         | 2         |
|        |           | 経営   | 1         | 1         |
|        |           | 社会情報 | 1         | 1         |
|        |           | 教育人間 | 1         | 1         |
|        |           | 理工   | 3         | 2         |
| 大妻女子   | 2         | 文    | 2         | 1         |
|        | 2         | 文    | 8         | 1         |
|        |           | 法    | 5         | 2         |
|        | 23        | 経済   | 5         | 1         |
|        |           | 理    | 1         | 3         |
|        |           | 理    | 2         | 2         |
|        |           | 医    | 1         | 2         |
|        |           | 薬    | 4         | 2         |
|        |           | 看護   | 2         | 2         |
|        |           | 獣医   | 2         | 2         |
|        |           | 文芸   | 2         | 2         |
| 共立女子   | 2         | 文芸   | 2         | 2         |
| 杏林     | 6         | 医    | 4         | 4         |
|        | 6         | 保健   | 2         | 2         |
|        |           | 文    | 2         | 2         |
|        |           | 法    | 3         | 1         |
|        |           | 総合政策 | 1         | 1         |
|        |           | 経済   | 4         | 3         |
|        |           | 商    | 8         | 1         |
|        |           | 理工   | 12        | 4         |
|        |           | 環境情報 | 2         | 3         |
|        |           | 薬    | 5         | 1         |
|        |           | 看護医療 | 2         | 2         |
|        |           | 情報   | 2         | 2         |
| 工学院    | 1         | 工    | 1         | 1         |
|        | 2         | 文    | 2         | 2         |
|        | 3         | 法    | 3         | 1         |
| 國學院    | 5         | 文    | 2         | 2         |
|        | 5         | 法    | 3         | 1         |
| 国際基督教  | 4         | 教養   | 4         | 3         |
| 国士館    | 2         | 文    | 2         | 2         |
| 駒澤     | 1         | 経済   | 1         | 1         |
|        | 2         | 文    | 1         | 1         |
| 実践女子   | 1         | 人間社会 | 1         | 1         |
|        | 1         | 工    | 23        | 3         |
| 芝浦工業   | 32        | シス理工 | 7         | 7         |
|        | 3         | デザイン | 2         | 2         |
|        | 10        | 医    | 3         | 2         |
| 順天堂    | 2         | 医療看護 | 7         | 2         |
|        | 12        | 外国語  | 1         | 1         |
|        |           | 法    | 3         | 1         |
|        |           | 経済   | 4         | 3         |
|        |           | 理工   | 9         | 1         |
|        |           | 医    | 5         | 4         |
|        |           | 薬    | 1         | 1         |
| 昭和     | 7         | 保健医療 | 1         | 1         |
|        | 4         | 薬    | 3         | 3         |
| 昭和薬科   | 3         | 薬    | 3         | 3         |
| 杉野服飾   | 1         | 服飾   | 1         | 1         |
|        | 1         | 文    | 2         | 1         |
|        |           | 法    | 2         | 2         |
|        |           | 経済   | 1         | 1         |
|        |           | 理    | 2         | 2         |
|        |           | 文芸   | 1         | 2         |
|        |           | 経済   | 2         | 1         |
|        |           | 社会イノ | 1         | 1         |
| 聖心女子   | 2         | 文    | 2         | 2         |
| 清泉女子   | 1         | 文    | 1         | 1         |
| 聖路加看護  | 1         | 看護   | 1         | 1         |
| 専修     | 5         | 法    | 2         | 2         |

| 大学名      | 合格<br>現浪計 | 学部名    | 合格<br>現浪計 | 進学<br>現浪計 |
|----------|-----------|--------|-----------|-----------|
| 専修       | 5         | 経営     | 2         | 1         |
|          | 1         | 商      | 1         | 1         |
|          | 6         | ネットワーク | 1         | 1         |
| 創価       | 1         | 経営     | 1         | 1         |
| 大東文化     | 1         | 文      | 1         | 1         |
|          | 1         | 経営     | 2         | 1         |
|          |           | 教育     | 1         | 1         |
| 玉川       | 5         | 芸術     | 2         | 2         |
| 多摩美術     | 2         | 美術     | 2         | 2         |
|          | 2         | 文      | 2         | 1         |
|          |           | 法      | 7         | 1         |
|          |           | 総合政策   | 1         | 1         |
|          |           | 経済     | 1         | 1         |
|          |           | 商      | 3         | 1         |
|          |           | 理工     | 10        | 7         |
|          |           | 学芸     | 5         | 2         |
| 津田塾      | 5         | 医      | 1         | 1         |
| 帝京       | 1         | 医      | 1         | 1         |
| 東海       | 2         | 海洋     | 1         | 1         |
| 東京医科     | 1         | 医      | 1         | 2         |
| 東京家政     | 1         | 家政     | 1         | 1         |
| 東京家政学院   | 1         | 家政     | 1         | 1         |
| 東京経済     | 1         | 経営     | 1         | 1         |
| 東京工科     | 2         | 応用生物   | 2         | 2         |
| 東京慈恵会医科  | 2         | 医      | 2         | 1         |
| 東京女子     | 16        | 現代教養   | 16        | 1         |
| 東京造形     | 2         | 造形     | 2         | 1         |
| 東京電機     | 4         | 理工     | 1         | 1         |
|          | 4         | 未来科学   | 1         | 1         |
|          |           | 国際食料   | 1         | 1         |
| 東京農業     | 20        | 農      | 3         | 1         |
|          | 4         | 生物産業   | 1         | 1         |
|          | 24        | 応用生物   | 15        | 3         |
| 東京薬科     | 2         | 薬      | 1         | 1         |
|          | 2         | 生命科学   | 1         | 1         |
|          |           | 経営     | 6         | 1         |
|          |           | 理      | 9         | 10        |
|          |           | 工      | 21        | 1         |
|          |           | 理工     | 33        | 9         |
|          |           | 基礎工    | 5         | 2         |
|          |           | 工      | 1         | 1         |
|          |           | 薬      | 5         | 3         |
|          |           | 理      | 11        | 1         |
|          |           | 医      | 10        | 9         |
|          |           | 薬      | 20        | 2         |
|          |           | 文      | 1         | 1         |
|          |           | 法      | 1         | 1         |
|          |           | 経済     | 1         | 1         |
|          |           | 経営     | 2         | 1         |
|          |           | 社会     | 2         | 1         |
|          |           | 総合情報   | 1         | 1         |
|          |           | 生命科学   | 1         | 1         |
|          |           | ライフデ   | 1         | 1         |
|          |           | 法      | 4         | 1         |
|          |           | 経済     | 2         | 1         |
|          |           | 商      | 1         | 3         |
|          |           | 文      | 5         | 1         |
|          |           | 工      | 1         | 1         |
|          |           | 生産工    | 2         | 1         |
|          |           | 理工     | 3         | 1         |
|          |           | 医      | 3         | 2         |
|          |           | 歯      | 2         | 1         |
|          |           | 松戸歯    | 1         | 1         |
|          |           | 薬      | 2         | 1         |
|          |           | 生物資源   | 2         | 1         |
|          |           | 芸術     | 1         | 1         |
|          |           | 医      | 2         | 2         |
| 日本医科     | 2         | 獣医     | 2         | 2         |
| 日本獣医生命科学 | 3         | 獣医     | 3         | 3         |
|          | 2         | 応用生命   | 9         | 9         |
|          |           | 文      | 7         | 2         |
|          |           | 人間社会   | 1         | 1         |
|          |           | 理      | 1         | 1         |
|          |           | 家政     | 3         | 3         |
| 日本赤十字看護  | 3         | 看護     | 3         | 1         |
| 法政       | 36        | 文      | 3         | 2         |

| 大学名      | 合格<br>現浪計 | 学部名      | 合格<br>現浪計 | 進学<br>現浪計 |
|----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 法政       | 36        | 法        | 4         | 1         |
|          | 7         | 経済       | 3         | 2         |
|          | 43        | 経営       | 4         | 1         |
|          |           | 社会       | 1         | 1         |
|          |           | 国際文化     | 1         | 1         |
|          |           | 情報科学     | 2         | 2         |
|          |           | キャリアデザイン | 4         | 1         |
|          |           | 理工       | 9         | 9         |
|          |           | 生命科学     | 2         | 1         |
| 星薬科      | 11        | 薬        | 11        | 2         |
| 武蔵       | 3         | 人文       | 2         | 2         |
|          | 3         | 社会       | 1         | 1         |
| 東京都市     | 4         | 都市生活     | 1         | 1         |
|          | 2         | 工        | 3         | 2         |
| 武蔵野      | 2         | 看護       | 1         | 2         |
|          | 3         | 造形       | 1         | 2         |
| 武蔵野美術    | 1         | 文        | 5         | 1         |
|          | 2         | 法        | 15        | 2         |
|          | 3         | 政治経済     | 5         | 3         |
|          |           | 経営       | 8         | 2         |
|          |           | 商        | 8         | 3         |
|          |           | 国際日本     | 2         | 2         |
|          |           | 情報コミ     | 1         | 1         |
|          |           | 理工       | 11        | 4         |
|          |           | 農        | 4         | 2         |
|          |           | 文        | 2         | 1         |
|          |           | 法        | 2         | 1         |
|          |           | 経済       | 3         | 1         |
|          |           | 社会       | 2         | 2         |
|          |           | 国際       | 3         | 3         |
| 明治薬科     | 2         | 薬        | 2         | 2         |
| 明星       | 1         | 人文       | 1         | 1         |
|          | 1         | 現代心理     | 1         | 1         |
|          |           | 法        | 8         | 4         |
|          |           | 経済       | 6         | 3         |
|          |           | 経営       | 4         | 1         |
|          |           | 社会       | 3         | 1         |
|          |           | 観光       | 3         | 1         |
|          |           | コミュニ     | 1         | 1         |
|          |           | 理        | 5         | 2         |
|          |           | 文        | 3         | 2         |
|          |           | 文化構想     | 4         | 2         |
|          |           | 法        | 4         | 2         |
|          |           | 政治経済     | 2         | 3         |
|          |           | 商        | 5         | 2         |
|          |           | 社会科学     | 4         | 2         |
|          |           | 教育       | 5         | 2         |
|          |           | 人間科学     | 6         | 1         |
|          |           | 国際教養     | 1         | 1         |
|          |           | 基幹理工     | 4         | 2         |
|          |           | 創造理工     | 5         | 2         |
|          |           | 先進理工     | 7         | 3         |
|          |           | スポーツ     | 1         | 1         |
| 学習院女子    | 1         | 国際文化     | 1         | 1         |
| 麻布       | 1         | 生命環境     | 1         | 1         |
|          | 2         | 獣医       | 2         | 2         |
| 神奈川      | 1         | 経済       | 1         | 1         |
| 産業能率     | 1         | 情報マネ     | 1         | 1         |
| 聖マリアンナ医科 | 1         | 医        | 1         | 2         |
| 洗足学園     | 1         | 音楽       | 1         | 1         |
| 東京工芸     | 1         | 工        | 1         | 1         |
| フェリス学院   | 1         | 音楽       | 1         | 1         |
| 横浜薬科     | 1         | 薬        | 1         | 1         |
| 金沢医科     | 3         | 医        | 3         | 3         |
| 愛知医科     | 1         | 医        | 1         | 1         |
| 藤田保健衛生   | 2         | 医        | 2         | 2         |
|          | 2         | 文        | 2         | 2         |
|          |           | 法        | 3         | 1         |
|          |           | 映像       | 1         | 1         |
| 立命館      | 4         | 理        | 2         | 2         |
|          | 2         | 医        | 2         | 2         |
| 近畿       | 2         | 理工       | 2         | 2         |
| 関西学院     | 2         | 薬        | 1         | 1         |
| 武庫川女子    | 1         | 医        | 1         | 1         |
| 福岡       | 1         | 医        | 1         | 1         |
| 私立大計     | 704       |          | 704       | 234       |
|          |           |          | 938       | 182       |
|          |           |          |           | 46        |

# 新入会員を迎えて

同窓会は、この三月、三六六名の新しい仲間を迎えました。  
新会員の希望に燃えたメッセージを紹介します。

**今** 年、私たち五十四期生は、それぞれ目標を抱きながら、東邦高校を卒業いたしました。

大学に進学した私は今、改めて東邦高校で学んできたことの大切さを実感しています。高校在学中には、様々なことを教えていただきました。自ら進んで目標を設定し、それを解決していくという、自主性の大切さや、他者と協力することの重要性を、日々の生活を通して学びました。

さて、これから私たちは一人一人が自覚をもって、社会に貢献できる存在に成長していかなくてはなりません。そのようなとき、私は特に次のようなことに注意してこれからの人生を歩んでいこうと思っています。まず、結果を案じる前に、自分が今できる最大限のことをする。また、東邦で培った経験を生かす努力をする。そして、困難な状況においても、最後まで諦めずにやりぬく。

これらのことを心に留め、今日より一歩でも進歩して明日を迎えられるよう努め、社会をリードしていくような人間になりたいと思っています。

東邦大学医学部一年 堀 俊介

## 同窓会事務局より

事務局担当理事 御喜 和（18 期生母校教員）

### (1) パート事務員の方の同窓会事務室での執務時間

水曜日 9:30 ~ 14:30

土曜日 9:30 ~ 14:30

同窓会へのお問い合わせは、なるべくこの時間帯にお願いします

直通電話 047-472-1160 \*FAX 番号は電話番号と同じです

### (2) 緊急の連絡に関して

上記の執務時間以外は、同窓会室への電話連絡はできません

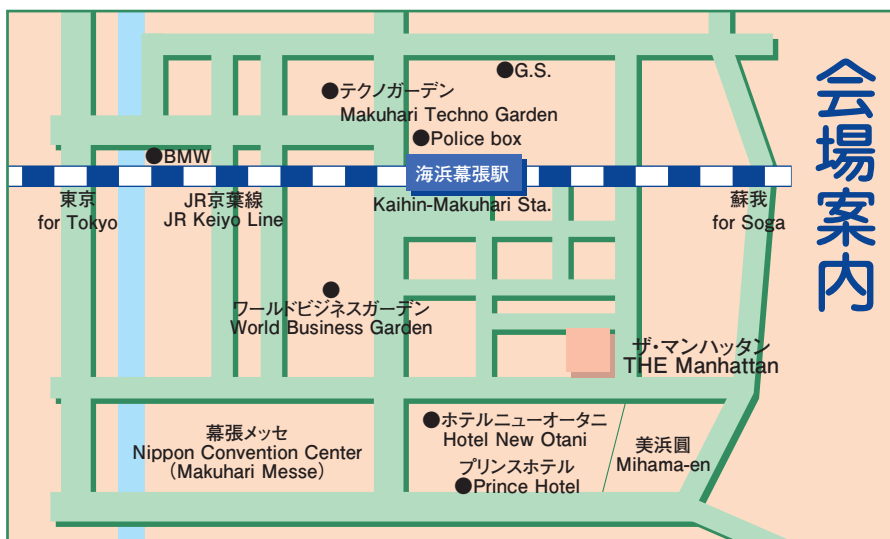
緊急のお問い合わせは学校代表 047-472-8191 にお電話いただき、

「同窓会関係教員」を呼び出してください

### (3) ホームページ等に関して

URL <http://www.dosokai.org>

E-mail [tohojh\\_dousokai@yahoo.co.jp](mailto:tohojh_dousokai@yahoo.co.jp)



## 会場案内

### ◆同窓会総会・懇親会◆

日時 平成二十一年七月四日（土）

十五時 総会開会

十六時 懇親会開会

会場 ホテル「ザ・マンハッタン」

幕張新都心

（二階 ルーナ／プリマベール）  
〇四三（二七五）一一一一（代表）